



森田医院通信

Vol. 27

2018年4月10日

心不全診療ガイドラインを大幅改訂

心不全とは、心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり生命を縮める病気です。日本循環器学会と日本心不全学会は今回新たに「急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年改訂版）」を作成し発表しました。今回は心不全とはどういったものなのか勉強しましょう。

心不全は、心臓に器質的(すなわちモノとしての障害、例えば心筋梗塞で心臓の一部が死んで動かなくなるなど)や機能的(不整脈により血液をうまく全身に送れなくなるなど)な問題で、全身や肺の血液の循環に異常をきたす状態です。

原因は、心筋梗塞など虚血性心疾患や心筋症・アルコールなど心毒性物質・糖尿病など内分泌代謝疾患・高血圧・不整脈・心臓弁膜症など様々です。

心不全の原因危険因子に対する適切な治療や、心臓に対する投薬などの治療により発症や増悪・再発予防を行います。

心不全の経過と病態

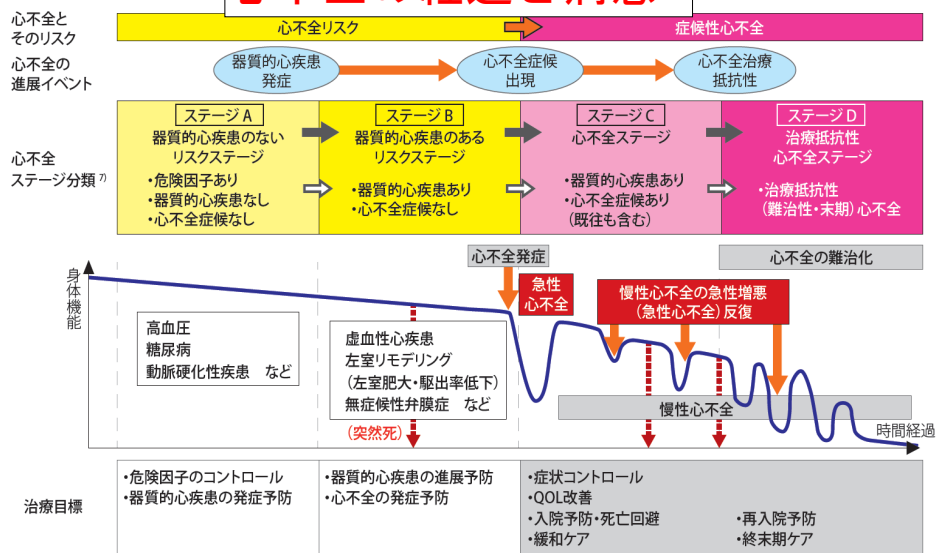


図1 心不全とそのリスクの進展ステージ

(厚生労働省, 2017²²⁾より改変)

心不全の代表的な自覚症状は、血液のうっ滞によるもの(動悸や息切れ、呼吸困難など)と、ポンプ機能の低下によるもの(疲労感、脱力感、四肢の冷感など)がありますが、進行すると両方の症状を認めるようになります。原因となる疾患、特に糖尿病や脂質異常症・不整脈などを指摘されている方でこのような症状を感じた時は心臓も調べてみるようにしましょう。



一言コラム

ひきこもりの平均年齢、平均期間、いずれも過去最高

ひきこもりの人の年齢が高くなり、期間も長期化していることが、親や本人でつくる「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」(東京)の調査で明らかになりました。調査の結果、ひきこもりの本人の平均年齢は34.4歳、ひきこもっている平均期間は11年8か月で、いずれも同連合会の調査では過去最高だったとのこと。

同会は「80歳代の親と50歳代の子どもが孤立し、行き詰まっている。社会の問題として発信していきたい」とのことです。

ニュース ブラジルで黄熱が再流行、渡航者に注意

外務省は3月から「ブラジルへ渡航する際には黄熱ワクチンの接種を検討するように」と呼びかけています。

黄熱は蚊が媒介するウイルス感染症です。通常3～6日の潜伏期間の後、発熱、頭痛、筋肉痛、嘔吐をおこします。回復する方もいますが、重症化すると出血や黄疸を起こす致死率の高い病気です。黄熱は野口英雄がなくなった病気としても有名です。

ブラジルへ渡航を考えている方は予防接種を受けること。蚊に刺されないように予防することが重要であることを覚えておきましょう。

(黄熱ワクチンは特定の医療機関でしか受けることができません。ブラジルへ渡航を考えられる方は大阪検疫所に問い合わせが必要です。)



糖尿病ってどんな病気？その18 α グルコシダーゼ阻害剤

α グルコシダーゼ阻害剤(以下 α -GI)は糖類(炭水化物)が消化管で分解されるのを阻害し、吸収を遅らせることによって食後高血糖を抑制するお薬です。当院ではボグリボースを使用しています。食前血糖はあまり問題なく食後に高血糖をきたすような初期・軽症の糖尿病が良い適応と考えられるお薬です。

このお薬は単独の使用では低血糖を起こす可能性が極めて低く、胃腸からの糖吸収遅延という作用機序のため食後高血糖の改善や、食後4～5時間の反応性低血糖や空腹感の軽減にも有効であること、また体重増加をきたしにくいという利点もあります。

弱点としては食直前に内服する必要があるということ、胃腸に作用するため腹部膨満感やおならが増える、便秘や下痢といった消化器症状があります。そのほか糖の分解吸収を抑制するため、通常の砂糖を服用しても血糖が上昇しにくく、低血糖時にはブドウ糖を使用する必要があるといった特徴があります。

α -GIの効果は食前後の血糖変動の抑制であるため、HbA1cの低下作用は強くありませんが患者さんによっては非常に有効な薬剤です。



休診のお知らせ

① 平成30年度ゴールデンウィークについて、5月1日火曜日と2日水曜日は休診とさせていただきます。

診療は4月28日土曜日まで、5月7日月曜日からとなります。

② 2018年5月25日金曜日は学会出張(日本糖尿病学会年次学術集会)のため、休診とさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますがご理解ご協力よろしくお願い致します。

医療法人
森田医院

所在地：大阪府寝屋川市本町24-14 電話：072-821-0446
ホームページ：<http://www.moritaclinic.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日 祝
9時-12時30分	○	○	○	-	○	○	-
17時-19時30分	○	○	○	-	○	-	-



受付は診察の30分前からです。シャッターは診察の1時間前に開きますので、診察券をお持ちの方は診察券入れに入れていただきますと順番をとらせて頂きます。